



ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1996年8月20日 No.3

青少年活動月間 9月

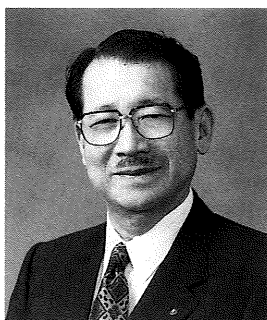


第7回 インターアクトクラブ協議会



国際ロータリー第2760地区 ガバナー 松本 宏

〒475 愛知県半田市銀座本町1-1-1 半田商工会議所内 TEL0569-26-3800 FAX0569-26-3840



青少年活動月間によせて

1996～'97年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松本 宏

今月は青少年活動月間であります。本年度のルイス・ビセンテ・ジアイRI会長は、「次の世代を準備することによって未来を築きましょう」をプログラムの中に挙げられて、青少年活動のより一層の強化と、その実践を我々ロータリアンに要請されました。そしてその活動を目指して、1996-97年度RI会長強調事項として「新世代プログラム」と「新世代会議」を提唱されました。

青少年活動を展開するにあたりまして、先ず我が国の青少年の現状を認識することが必要と存じます。戦後、我が国は他国に例を見ない急速な経済発展を成し遂げ、世界でも有数の経済大国となりました。そのことにより我々は一定の経済的「豊かさ」を手にすることができました。しかし経済発展を重視した社会の在り方は、人間関係や家族の在り方に大きな問題を投げかけました。特にその影響をもろに受けたのは青少年たちであります。彼等を取り巻く社会環境の変化の与えた影響は、非常に大きく且つ深刻で、様々な問題が発生しています。

青少年非行の現状を見ますと、年々増加の傾向にあります。このことは世界的現象でありまして、我が国のみならず、大きくは人類の未来にとっても重要な問題であるといえます。

青少年非行の増大は、成人社会の乱れに起因している面が多く、社会の乱れの正常化は容易なことではありません。大人社会の正常化と人間性の向上が伴わなければ、青少年の乱れが理論的にもなくなることでありまして、それぞれが自己の人間性を高める努力をしながら、青少年への指導強化に協力し合う必要があります。

そしてその基盤のもとに、各種の方向性を実施していくならば、展望がひらけてくると思います。

国際ロータリーの奨励する青少年への奉仕の目標及びプログラムは「手続要覧」に、くわしく記載されています。その主要なものは、青少年指導者養成プログラム「RYLA」と、インターアクト、そして国際青少年交換、ローターアクトなどで、その他青少年のための諸活動として、青少年奉仕団体への支援、青少年非行及び薬物乱用防止活動、RCCなどが挙げられています。又最近深刻な問題となっています「エイズ対策」につきましても、教育現場でも取り上げられています。

次代を担う青少年の健全育成のために、われわれロータリアンの活動が特に要請されているところであります。

青少年活動は、我々ロータリアンが彼等の、よき先輩として、ともに学びともに実践し、喜びも悲しみも互いに分かち合うというスタンスが望まれるのであります。

「各ロータリアンは青少年の模範」というのが、ロータリー青少年への奉仕のモットーであります。全てのロータリアンが、青少年の良き指導者としての心構えと知識を持つことが望まれます。

今年9月は「新世代プログラム強化月間」に指定されました。「ロータリアンは新世代の鑑^{かがみ}」をスローガンとして、新世代の健全育成のために、皆様方の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。上げる次第でございます。



ロータリーの青少年活動について

地区青少年活動委員会

委員長 加藤 正 男

「築け未来を行動力と先見の眼で」のR.I.テーマのもと、いよいよ新年度がスタートしました。青少年活動に大変力をいれておられる松本宏ガバナーのご方針を体して、全関係者、特に各クラブの青少年委員長各位が具体的な計画に基づく新鮮な青少年活動を指導され、大小を問わず、必ずやすばらしい成果を得られますことを心よりご期待申し上げる次第です。

新年度を通じて、加納泉パストガバナー（名古屋中）のカウンセリングを仰ぎつつ、鈴木孝則副委員長（あま）と二人三脚で懸命にお手伝いさせていただきますので何卒よろしくお願い申し上げます。

フォーマルな地区の青少年活動プログラムといたしましては、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、及び青少年指導者養成プログラム（RYLA）の3つがあります。高い見識、豊かな経験、そして燃ゆる情熱と共に、坂本康信インターアクト委員長（名古屋）、石川敬ローターアクト委員長（一宮中央）、野村重彦ライラ委員長（刈谷）がそれぞれ担当されますので何卒よろしくご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

地区が主催するプログラムに加えて、各クラブでは、すでに様々な青少年活動を指導・後援しておられることと存じます。例えば地元の青少年団体に対するスポーツ活動の支援、図書の寄付、色々な対話集会の開催、環境問題の共同研究等、実に多彩なプログラムが地元の事情を良く理解する各クラブの関係者のリーダーシップのもとに、非常に立派な内容によって実施さ

れておりますが、力強い継続と更なる発展を目指していただきたく存じます。

来たる9月15日に開催いたします地区青少年委員長会議には松本ガバナーもご出席になります。この会議の席上各クラブの推進しておられる青少年奉仕活動について発表して頂くことを通じて、お互いに学び、参考とする機会となることを願っております。

ホームクラブこそがロータリー活動の原点であります。今後も引き続き各クラブが地区のプログラムに対し熱心に参加されると同時に、地元において、力強く青少年活動を展開されるものと確信しております。

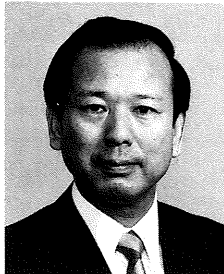
丁度9年前、岡崎南R.C.が地区協議会をホスト致しました際、松本ガバナーと同じ半田R.C.の田中徹パストガバナーが、当時のガバナーノミニーとしてこの協議会をリードされ「青少年活動は未来への投資である」と明言され、次のソクラテスのことばを引用されました。

『ものごとを始める正しい道は、青少年に注意を払い、青少年を優秀にすることである。』

「次の世代に対して何ができるか」ということは、ロータリアンズにとって永遠不変の課題であります。

今年度におきましてはこの課題に対し新しいエネルギーと英知と共に取り組み、パワーを全開して「行動」し、必ずや「成果を実らせること」を目標とします。地区内クラブの会長各位の格別なるご理解とご支援のもと、各青少年委員長が大いに活躍下さいますことを切に願います次第です。

すばらしい活動 —インターアクトを青少年に—



インターアクト(伊)委員会
委員長 坂本 康信

インターアクトクラブは1962年に米国フロリダにおいて創立され、高校生を対象にした

- (1)社会奉仕・ボランティア活動、
- (2)国際理解・交流に関心を持って行動する世界的な青少年活動であります。

活動を通して人格・人間性を養い、更に社会・世界で活躍できるリーダーシップを養い、次代を担う指導者の育成につながっております。

* Inter Act-International Actionの意味

現在、世界には69ヶ国、2396人、155,043名、日本では489クラブ、14,816名。2760地区では13クラブ、472名が参加し、地域と学校で福祉・国際理解・交流に活躍し成果をあげております。

このようなすばらしい活動のチャンスを青少年に与えるのがロータリークラブの役目であります。インターアクトクラブは、青少年自身の手による青少年活動であり、難しくありません。是非あなたのクラブもインターアクトクラブの提唱をしてみませんか！

地区インターアクトクラブの年間行事

7月21日(日) 於 安城文化センター

* インターアクトクラブ協議会

7月26日(金)～8月4日(日) 於 オーストラリア

* インターアクトクラブ海外研修派遣

1997年2月8日(土) 於 名古屋

* インターアクト顧問・委員懇談会

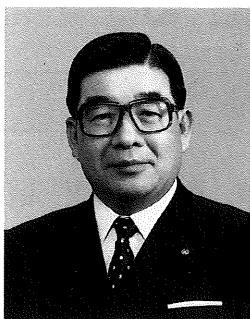
1996年～97年度

I.A.C.海外研修派遣参加者

学 校 名	氏 名	学 年
岡 崎 城 西	高木純一郎(男)	3 年
	杉浦 公彦(男)	3 年
	細谷 俊暢(男)	3 年
豊 川 高 校	山口 桂子(女)	3 年
	井上 由紀(女)	3 年
豊 田 高 専	杉山かおり(女)	2 年
	千賀 名津(女)	2 年
	鯉江 美希(女)	2 年
豊 橋 商 業	池田佳菜子(女)	3 年
	杉浦 麻由(女)	3 年
	鈴木紗希子(女)	3 年
名 女 子 大 高	久野美恵子(女)	3 年
名 短 大 付 高	中島 澄子(女)	3 年
	石川 愛(女)	3 年
	川瀬 綾(女)	3 年
岡 崎 学 園 高	小林 咄矢(女)	3 年
	佐藤 知美(女)	2 年
	松沢 優子(女)	2 年
安 城 学 園 高	石原由紀乃(女)	3 年
	亀井 美和(女)	3 年
	安江 真由(女)	3 年
津 島 女 子 高	山田芙美代(女)	3 年
	杉本 由美(女)	3 年
	小粥由賀理(女)	3 年
一 宮 女 子 高	桐山まゆみ(女)	3 年
	島田真理子(女)	2 年
	社本 后代(女)	2 年
光 ヶ 丘 女 子	山田 千絵(女)	3 年
	久保 早織(女)	2 年
	野村和佳子(女)	2 年
阿 久 比 高 校	泉 珠恵(女)	3 年
	恒行 礼美(女)	3 年
	水谷 ひろ(女)	3 年
千 種 高 校	丹羽 知子(女)	2 年
	木村亜紀子(女)	2 年
団 長 副団長 アドバイザー アドバイザー オブザーバー	谷 朋子(女)	
	新原矢須子(女)	
	荻本 鉄夫(男)	
	坂本 康信(男)	
	鬼木 正男(男)	



「新世代を育成し未来を築く」をテーマに



地区ローターアクト(小)委員会
委員長 石川 敬

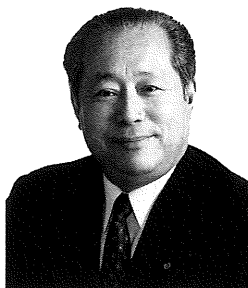
R・I会長方針を基として、ガバナー方針の「新世代プログラム」が標記テーマの通り発表されています。この9月はその強調月間であります。「ロータリアンは新世代の鑑」をテーマに地区内各ロータリークラブでその運動は展開される予定であります。

幸いロータリーは過去より青少年育成にあたり、地道ながら地域社会に永く貢献してきています。それはご存知の通り(1)インターアクト、(2)ローターアクト、(3)ライラの3組織であります。3本の矢ではありませんが、この3つの組織が夫々の目的を、夫々が成し遂げる事によって、ロータリーが目指す「新世代を育成し未来を築く」というテーマは確実に地域社会への奉仕として認められるものと信じます。

ロータリー活動の原点は、ホームクラブにあるといわれていますが、それは地区内各クラブが地域において確実に活動プログラムを実施される事が不可欠の要素となります。すでにご承知のごとく、ローターアクトは現在地区内に10クラブが結成されており、夫々のクラブがホストRCと力を合せ「奉仕を通じて親睦」をテーマに各地域で多彩な活動を展開しております。しかし全国ロータリーの他地区の活動状況から拝察しますと、当2760地区はインター・ローター両アクトともにその「規模」において劣性であることが認められます。

今年は特に標記のような若い世代育成を主眼とした活動が基本方針として発表されています。各ロータリークラブにおかれましては、新クラブ結成に深いご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

ライラ (RYLA) について



地区ライラ(小)委員会
委員長 野村 重彦

21世紀、新しい世紀への期待を込めて、私共が「奉仕の理想」を実現するための行動の中に、青少年への奉仕があります。若い人とロータリアンが参加する地区プロジェクトとして、次の世代を担う若い人々の指導力と善良な市民としての資質を伸ばす事を目的に、1976年以来始まった我が国のライラも早や20年が経過致しました。

RI第2760地区の「ライラ」は90～91年度ガバナー中村繁男氏の熱意ある提唱の下に「ライラ研究委員会」として発足し、1993年3月14日第1回ライラセミナーが岡崎東RCホストの下に開催されてより、第2回春日井RC、第3回東知多RC、第4回大須RCホストの下に、第2回以降は1泊2日の研修が行われ、私共の地球の環境、将来、直面している社会問題、明日の社会に向けての有意義な講演、多彩な分科会に於ける討議などと共に、若者同士、心を開き、問題や悩みを語り合い、友情を深め、ロータリアンも膝付き合わせ若い人々と団欒を共にし、人生の先達としてのアドバイスなどと共に若い人からも多くの刺激を受け「ライラ」本来の目的の達成と共に、親睦と友愛の輪は大きく広がり参加者に多くの感動をもたらします。

96～97年度「ライラセミナー」は刈谷RCホストの下に1997年3月15日～16日の2日間、愛知県美浜少年自然の家を会場に開催されます。

今年度、RI会長が強調して居られる「新しい世紀を担う人々への奉仕、新世代を育成し、未来を築くためのプログラムの一環としてご理解戴き、RI第2760地区、全クラブの「ライラセミナー」へのご参加を期待して居ります。

“感動的な大会—体験を語る”

第7回インターアクトクラブ協議会

インターアクト(小)委員長 坂本 康 信

インターアクトクラブは、年に一回協議会を開催し、共に学び、会員同志の交流を図っています。

第7回(通算第33回)R.I.第2760地区インターアクトクラブ協議会は、去る7月21日(日)、午前9時30分から午後3時30分まで、安城市文化センター大ホール、会議室において、安城ロータリークラブ並びに安城学園高校インターアクトクラブのホストによって開催され、第2760地区松本 宏ガバナーをはじめ、内田栄一地区幹事、小出和巳西三河第一分区代理、加藤正男青少年活動委員長、鈴木孝則青少年活動副委員長、地区インターアクト委員、そして13インターアクトクラブの会員・顧問の先生369名、関係ロータリアン110名、合計479名が参加し、大盛会でした。

今回の協議会は、テーマに“体験を語り合う～障害者との共生を考える・国際人としての共生を考える～”を掲げ、新しい試み一問題提起『今、地球を考える』をもとに、分科会一体験を語るがなされ、大変感動的かつ有意義な協議会であった。

〈開会式〉

安城学園インターアクトクラブ石原由紀乃会長の点鐘、亀井美和副会長の開会宣言、国歌斉唱、インターアクトクラブの歌、安城インターアクトクラブ石原由紀乃会長並びに安城ロータリークラブ植村律保会長より歓迎の挨拶、原田慶三郎インターアクトクラブ協議会実行委員長により出席地区役員・委員及び各ロータリークラブの紹介、参加クラブの紹介、続いて第2760地区松本宏ガバナー、安城学園高等学校三浦定夫校長より挨拶をいただいた。

参加I.A.C.は、豊川(34名)、豊田高専(13名)、豊橋商業(25名)、岡崎城西(35名)、名古屋(5名)、岡崎学園(51名)、安城学園(34名)、津島女子(44名)、一宮女子(36名)、光ヶ丘女子(50名)、名短付(23名) 合計13クラブ
参加R.C.は、23クラブ。

〈問題提起〉

安城学園高校教諭・安城市民会議のメンバーの坂田成夫先生より分科会での体験を語り合うためのすばらしい実体験の問題提起がなされた。

* Aグループ、Bグループとわかれて吹奏学部演



I.A.C. 協議会開会式—松本ガバナー挨拶



分科会—体験を語る



安城学園高校吹奏楽部の演奏

奏・学校紹介ビデオ・分科会が実施された。

〈吹奏学部演奏〉

全国的に活躍している安城学園高校吹奏学部の迫力あるすばらしい演奏に魅せられた。

〈学校紹介ビデオ〉

安城学園高校の学園生活をビデオで紹介。とても良い学園生活に感動した。

〈分科会〉

今年は新しい試みで、参加者一人一人が自分の体験－老人や障害者施設の訪問、募金、阪神大震災ボランティア活動、手話・点字活動等々を語り、共に経験を分かち合い感動的であった。

〈昼食会〉

一人一人お弁当が用意されて、自由に交流をしながら会食の時を過ごした。

〈海外研修派遣壮行会〉

第9回インターアクト海外研修派遣参加者に対する激励の時がもたれ、坂本康信地区インターアクト委員長より挨拶並びに団長の紹介、松本宏ガバナーより激励の言葉が贈られた。谷 朋子団長（津島女子高校教諭・インターアクト顧問）の挨拶並びに団員の紹介、団員を代表して、岡崎城西高校3年の高木純一郎君と津島女子高校3年山田英美代さんが誓いの言葉を力強く述べた。更に参加者一同で英語の歌を披露。



I.A.C.海外研修派遣壮行会

〈発表会：結果報告会〉

各分科会の報告が各学校の議長団よりされたが、いずれも大変すばらしい成果を収めた発表であった。

〈閉会式〉

松本 宏ガバナーより講評、坂本康信地区インターアクト委員長より閉会挨拶とともに次年度ホストが発表された。

津島ロータリークラブ

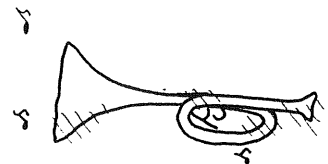
津島インターアクトクラブ

山田英美代津島女子インターアクトクラブ会長並びに佐藤昭太郎津島ロータリークラブ会長より、次年度インターアクト協議会開催のアピールがされた。

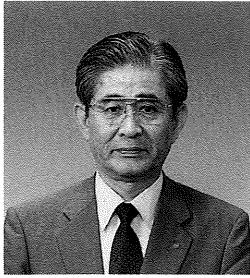
最後に、亀井美和安城学園インターアクトクラブ副会長による閉会宣言、石原由紀乃会長による点鐘により、第7回（通算33回）国際ロータリー第2760地区インターアクトクラブ協議会が大成果を収めて閉会した。

今回のホスト役の安城ロータリークラブ並びに安城学園高等学校インターアクトクラブの皆様大変ご苦勞様でした。皆様の周到な準備により新しい感動的な協議会を開催いただき、この場を借りて心より感謝を申し上げます。

また松本 宏ガバナーをはじめ地区役員・委員の皆様のご支援に対し御礼申し上げます。



ロータリー財団奨学生選考にあたって



地区ロータリー財団
委員会

委員長 矢島 茂

1997～98年度派遣R財団奨学生の地区選考試験は、石川ガバナー始め多くの地区財団委員が出席して、去る6月1日愛知学院大学本部で実施された。各クラブから推薦された奨学金申請者は24名（2学年奨学生9名、1学年奨学生15名）で選考委員により面接試験が行われた。

1947年世界理解と平和増進のための奨学金プログラムが採択されてから50周年を迎えるため、選考にあたっては、ロータリーの親善使節として相応しい有能な人物、語学力、ロータリー財団の理解度、留学の目的、地域性など総合的に慎重に審議した結果、14名の合格者（2学年奨学生4名、1学年奨学生10名）を決定した。14

名の合格者の内訳は、男性3名、女性11名と女性が圧倒的に多く、また志望国別では、米3・英3・仏3・伊3・加2と全世界の地理的地域に平等に分散され、専攻別では国際経営学3、文学関係3、国際経済学2、音楽2の他建築、社会政策、人文地理、都市計画と多様となった。

合格者は松本ガバナーよりR財団本部へ奨学生候補者として推薦され、11月末本部から留学先の指定通知を受ける予定であるが、今年度（1996～97）は留学のための準備期間であり、新奨学生のためのガイダンス（8月4日）、地区大会参加（10月13日）、オリエンテーション（1月下旬）、壮行会兼学友会総会（5月下旬）での出発前の教育プログラムが組まれています。

R財団奨学金プログラムは、当地区ロータリー財団活動の中で最も重要で、かつ有意義な事業であり、各クラブからの財団への寄付によって支えられています。今年度松本ガバナーの寄付目標会員一人年間105ドル、ベネファクター会員50人当り1名の主旨をよく理解され、今まで以上のご支援をお願いします。

1997～98年度ロータリー財団奨学生候補者一覧表

合格者（2学年奨学生）

番号	氏名	年齢	性別	学歴	志望国	専攻分野	推薦クラブ
4	矢上 清乃	26	女	南山大学経営学部卒	米	経営学	名古屋栄
5	谷道ゆりえ	24	女	京都大学卒	米	開発経済学	名古屋千種
6	玉置 啓二	38	男	名古屋工業大学卒	仏	建築学	豊川
9	鈴木 慈枝	22	女	津田塾大学在学	英	社会政策学	知立

以上4名

合格者（1学年奨学生）

10	上原 早苗	36	女	津田塾大学大学院修了	英	英文学	名古屋港
11	鈴木 友美	20	女	愛知県立大学在学	仏	フランス文学	名古屋瑞穂
12	神田 彩	28	女	東京芸術大学卒	伊	音楽	名古屋南
13	中神 正史	25	男	名古屋大学博士課程在学	英	国際経済学	名古屋昭和
15	今泉 陽子	28	女	南山大学卒	米	国際関係学	名古屋名南
16	中村 玲子	22	女	名古屋大学在学	加	比較国際教育学	名古屋千種
17	永山 孝子	25	女	国立音楽大学卒	伊	音楽	瀬戸北
18	三輪 直子	21	女	大阪外国語大学在学	伊	ヴェネツィア近代史	名古屋守山
20	中鉢奈津子	22	女	京都大学在学	加	人文地理学	豊田三好
23	谷口 篤	22	男	神戸大学大学院在学	仏	都市計画	豊橋

以上10名

一緒に「有意義な時間」に しようではありませんか

1996～97年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 松本 宏

ガバナー
公式訪問に際して

国際ロータリー第2760地区ロータリアンの皆様；

1996～97年度RI会長ルイス・ピセンテ・ジア
イ氏は本年度RIテーマとして

**BUILD THE FUTURE
WITH ACTION AND VISION**
**築け 未来を
行動力と先見の眼で**

を掲げ、その実践を要請されました。私はガバナーとして地区内75クラブを公式訪問し、RI会長テーマ及びプログラムについて、皆様のご理解とご協力をお願いしています。中でも特に「新世代プログラム」は本年度特別強調事項でありますので、是非ともその実践をお願いしています。

ガバナー公式訪問の目的は、

1. 会長、幹事そして会長エレクトとクラブの諸問題について隔意のない懇談と指導を行う。
2. 例会で全会員に対して感銘深い挨拶を行いロータリー活動を励ますこと。
3. クラブ協議会メンバーと、クラブ運営、活



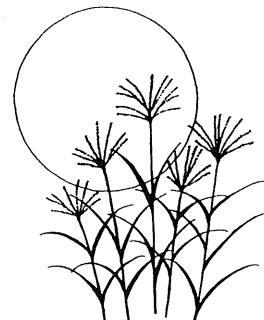
動の推進について協議し、助言を与えること、とあります。

私は、この公式訪問により皆様方と親睦の輪を広めることを、第一目標にしています。

ロータリーの発展史が示しますように、はじめに親睦があり、これから職業奉仕が生れ、社会奉仕に展開し、そこから国際奉仕が育ったというように、親睦活動が出発点になっています。クラブの大小、その歴史、都市部と地方と、各クラブ同一ではありません。その活動内容も違って当然だと思います。要はクラブに合った且つ地域に密着したロータリー活動が、ベターだと信じています。

楽しい例会に出席させていただき、親睦を深めたいと存じます。

皆様方の深いご理解とご協力をお願いいたします。



公式訪問だより

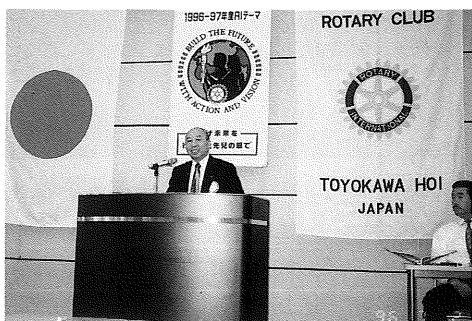
●豊橋東ロータリークラブ



- 平成8年7月3日(水) ●会 長 鈴木 薫
- 豊橋グランドホテル ●幹 事 小林佳雄
- 会員数 32名

私達豊橋東ロータリークラブの創立の精神は「青少年を対象として、教育・スポーツ活動を通じて国際交流をはかり、世界平和に貢献する」です。その理念に基づき日韓学生交流を支援する事といたしました。この度、招請状を携え、ソウル中央大学の金総長を訪れ、黄日本語学科教授と学生2名の日本への招請をお願いしました。

●豊川宝飯ロータリークラブ



- 平成8年7月9日(火) ●会 長 青木恒義
- 豊川商工会議所 ●幹 事 波多野四郎
- 会員数 68名

会長の目標

- ① 和敬、信愛をもつとくに
明るく楽しい例会づくりに取り組む
- ② 毎月1回夜間例会の実施
- ③ 家族例会を取り入れる
- ④ カムバック仁王様への支援

●渥美ロータリークラブ

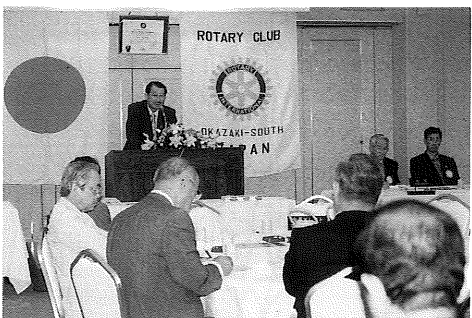


- 平成8年7月10日(水) ●夜 ●会 長 弓場昭弘
- 伊良湖ガーデンホテル ●幹 事 鬼頭貫治
- 会員数 63名

親睦を中心とした自由で和気藹々な委員会活動と奉仕事業又会員増強や環境問題に目的意識を持って地域に密着した奉仕活動は何であるか考え充実した計画を立てこれを実行する。

日程の都合で公式訪問当日に国際奉仕の一環としてハンガリー共和国の「オール・ジ・エイジズ」合唱団を招き、草の根交流を行いました。

●岡崎南ロータリークラブ



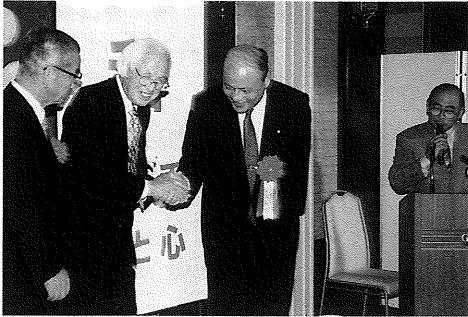
- 平成8年7月12日(金) ●会 長 中根義郎
- 名鉄岡崎ホテル ●幹 事 鈴木忠夫
- 会員数 113名

今年度の重点目標

- ・明るく、楽しい例会運営を心掛ける。
- ・会員、家族の親睦をはかる。
- ・職業奉仕の質を高める。
- ・岡崎国立共同研究機構の「海外交流セミナー会館」へ石灯籠を寄贈する。
- ・IAC、RACの例会に積極的に参加する。
- ・RI会長賞へ挑戦する。

公式訪問だより

●名古屋錦ロータリークラブ



- 平成8年7月16日(火)
- 名古屋ガーデンパレス

- 会 長 梶川重久
よしひろ
- 幹 事 中川偉弘
- 会員数 60名

諸先輩の絶大なる御後援と新クラブの新メンバー諸兄の御協力に依り去る6月18日チャーターナイトを挙行、やっと一人前になりました名古屋錦R.C.です。当クラブの特長として(1)例会場が名古屋の最大繁華街のド真中にあること。(2)女性(特にウラ若き?)会員の多いこと。(3)月末最終例会は夜間例会。等々、一度是非おいで下さい。

●稲沢ロータリークラブ



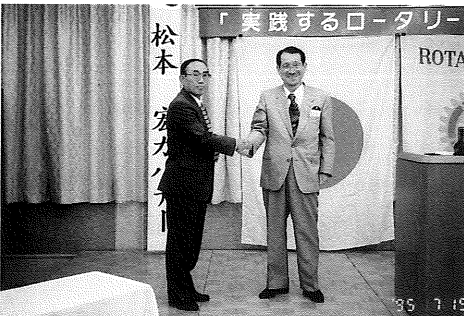
- 平成8年7月17日(水)
- 東海銀行稲沢支店

- 会 長 今井靖隆
- 幹 事 田中勝美
- 会員数 65名

緑の稲沢市と祖父江町、平和町の一市二町から成るクラブで、今期33年目を迎えます。会員の中には緑に関係する職業の方も多く、市の小公園をロータリーの森として命名し、樹木の育成と管理を続けて居ります。

青少年奉任と社会奉仕は協力して地区内に存在する5つの高等学校の生徒代表各校5名との話し合いを行い、主として交通問題のシンポジウム実施、稲沢警察署の協力を得て10年を数えました。

●田原ロータリークラブ

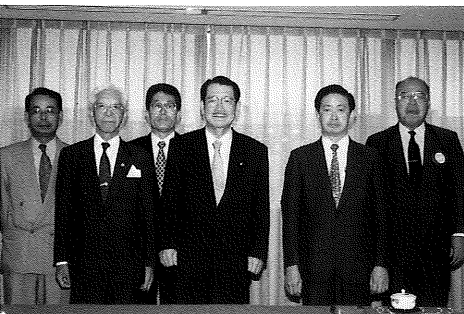


- 平成8年7月19日(金)
- 田原シティホテル

- 会 長 森下露舟
- 幹 事 渡辺佳成
- 会員数 73名

田原クラブは渥美半島の真中に位置し、南は黒潮躍る太平洋、北は波静かな三河湾に囲まれ、温暖な常春の気候は四季折々の草花が咲き乱れ訪れる人々の目を楽しませてくれる。目下、次年度地区大会のホストクラブとして予定されている為、ロマンと感動の出逢いを求めた地区大会の成功に向けて、実行委員会の設立と企画立案に努力中である。

●名古屋空港ロータリークラブ



- 平成8年7月22日(月)
- ホテルキャスルプラザ

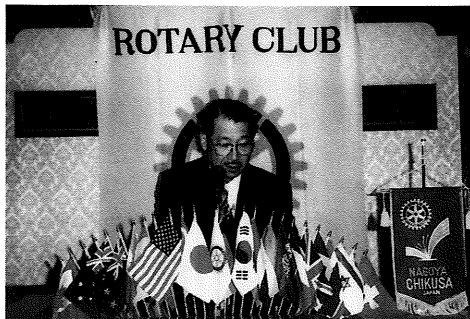
- 会 長 鈴木恵一
- 幹 事 市川 孝
- 会員数 65名

今年度の重点目標

- ・RI会長テーマの実践
- ・RI会長賞獲得
- ・会員増強 目標7名
- ・空港関係者と親密な関係を持ち、地区団体及び組織の協力を得て対話の場を設ける。

公式訪問だより

●名古屋千種ロータリークラブ



●平成8年7月23日(火)

●愛知厚生年金会館

●会 長 西川豊長

●幹 事 中山信夫

●会員数 68名

面白いニコボックス

名古屋千種RCでは、いつの頃からか、ニコボックスが面白いことをやっています。お金を入れるとき一言書き添える文句が一風変わっていることと、金額は千円で結構、同感の人はどしどし入れようということです。「千円が積み積って財政補償—新しい言葉探して今年もやりましょう」「たれかれのこれより鵜飼絵巻かな」

●名古屋名駅ロータリークラブ



●平成8年7月24日(水)

●名鉄ニューグランドホテル

●会 長 高田秀夫

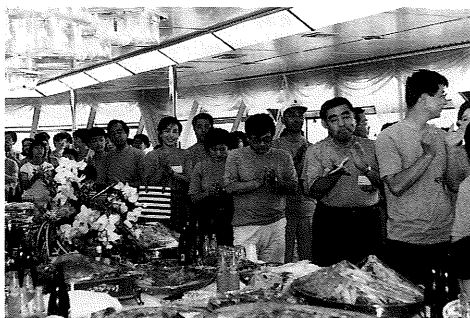
●幹 事 小室健次郎

●会員数 102名

ゲートウェイ・フォーラム21ナゴヤ

本クラブ今年度最大の行事は、名古屋名駅、名古屋港そして名古屋空港の交通アクセスの名古屋の玄関口をクラブ名にしている3クラブが集い、都市生活文化について交流拠点の観点から様々な考察を加え、21世紀に向けた名古屋の生きる知恵と奉仕活動の方向性をさぐるフォーラムを開催すべく準備中です。出来ることなら3クラブで持ち廻りで続けたいと願っています。

●田原パシフィックロータリークラブ



●平成8年7月30日(火) ●夜

●華山会館

●会 長 小川喜一

●幹 事 真木良典

●会員数 76名

「アットホーム」がいっぱい、田原パシフィックRCは創立七年目の若いクラブですが、昨年I.M.をホスト致しました。受け皿の無い田舎町での事、無から有を生み出すべく、全てを会員の手作りで、又夫婦ぐるみでやり遂げ、自信を持ったクラブです。夫婦、家族ぐるみ、何か有る毎にアットホームがいっぱいのクラブです。

●豊川ロータリークラブ



●平成8年7月31日(水)

●豊川商工会議所

●会 長 白井利明

●幹 事 竹本尚美

●会員数 82名

豊川RCは、本年度で創立38年を迎えます。会員の平均年齢が少し高くなりましたが、会員一同のまとまりは抜群です。そして、毎週の例会が和やかで品位ある例会をめざしています。国際的には、台湾・岡山RCと韓国・大邱達西RCと姉妹締結をしています。また、豊川高校IACの活動への支援を積極的に行っています。

'96年6月 老人ホーム千両荘にIACの生徒さんが慰問



国際ロータリー第2760地区 1996～'97年度地区協議会決算書

ホスト：小牧ロータリークラブ

＜収入の部＞

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
地 区 助 成 金	1,100,000	1,100,000	
参加クラブ登録料	9,270,000	9,260,000	926人×10,000円
米山記念奨学会補助金	260,000	355,190	
雑 収 入	270,000	210,005	祝儀210,000円 利息5円
ホストクラブ負担金	100,000	93,491	
合 計	11,000,000	11,018,686	

＜支出の部＞

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
1. 指 導 者 会 議	(740,000)	(775,160)	リーダー、アドバイザー会議 3回 旅費・交通費
2. 地 区 協 議 会	(8,230,000)	(8,223,817)	
交 通 関 係 費	1,710,000	1,246,967	シャトルバス利用代金 ガードマン
会 場 費	650,000	760,802	本会議場 分科会場使用料
昼 食 費	3,420,000	3,422,520	名鉄小牧ホテル 牧寿会 (株)えいわん
友 愛 の 広 場	1,200,000	1,166,785	〃
会 場 設 営 費	650,000	963,406	看板 白布 生花 椅子・机レンタル料
会 場 運 営 費	600,000	663,337	記録テープ フィルム 名札
3. 庶 務 関 係	(700,000)	(774,366)	案内状 冊子 紙袋
4. 実 行 委 員 会	(1,200,000)	(1,063,343)	
会 議 費	650,000	579,005	実行委員会15回
事 務 費	550,000	484,338	コピー コピー用紙 電話 ファクシミリ 切手代 事務局員給料
5. 雑 費	(130,000)	(182,000)	お手伝いお礼
合 計	11,000,000	11,018,686	

第2760地区ニュース・その他

1996～'97年度国際ロータリー第2760地区

第1回 地区諮問委員会 開催

去る7月13日(土)、午前11時半より名鉄グランドホテルにおいて、第1回地区諮問委員会が開催されました。たくさんの協議事項が慎重に審議され決定し、さらに地区大会のプログラム等が報告されて、午後2時予定通りに終了しました。



▲第1回地区諮問委員会

1996～'97年度 地区大会における下記委員会の選任委嘱

○信任状資格審査委員会

- ・委員長 石川和昌 (P.D.G.)
- ・委員 福田浩三 (P.D.G.)
- ・委員 神戸政治 (P.D.G.)

○選挙管理委員会

- ・委員長 加納 泉 (P.D.G.)
- ・委員 田中 徹 (P.D.G.)
- ・委員 高沢 隆 (P.D.G.)

○大会決議委員会

- ・委員長 蜂谷弘道 (P.D.G.)
- ・委員 盛田和昭 (P.D.G.)
- ・委員 宮地信尚 (P.D.G.)

○登録委員会

- ・委員長 藤堂利夫 (稲沢RC)
- ・副委員長 鈴木 睦 (")

○地区大会企画委員会

- ガバナー 松本 宏 (半田RC)
- パストガバナー 蜂谷弘道 (名古屋和合RC)
- パストガバナー 石川和昌 (豊橋RC)

- ガバナーノミニー 犬飼栄輝 (名古屋東RC)
- 地区幹事 内田栄一 (半田RC)
- 西尾張分区代理 酒井 孝 (一宮RC)
- 前大会実行委員長 服部義則 (東海RC)
- 前大会幹事 加古嘉昭 (")
- 大会実行委員長 木村章二 (稲沢RC)
- 大会幹事 塚本胤男 (")

ファクシミリ番号変更のお知らせ

下記クラブファクシミリ番号が7月1日より下記の番号に変更になりましたのでお知らせいたします。お間違えのないようお願い申し上げます。

豊橋ロータリークラブ

FAX (0532) 56-6006

豊橋ゴールデンロータリークラブ

FAX (0532) 56-6006

ガバナーノミニー事務所開設のお知らせ

国際ロータリー第2760地区

ガバナーノミニー

犬飼栄輝(名古屋東南R.C.)

この度下記の通りガバナーノミニー事務所を開設致しました。

所在地 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4

名鉄グランドホテル14F 417号室

TEL (052) 561-0020 FAX (052) 561-0021

訃 報



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
北村善治様 (名古屋R.C.)

7月14日

長坂 甫様 (碧南R.C.)

7月15日

犬飼高義様 (名古屋北R.C.)

7月19日

前田 忠一様 (名古屋R.C.)

7月28日



インターアクトクラブ 海外派遣団出発式 ——シドニーへ旅立つ——



出発式で挨拶する坂本委員長

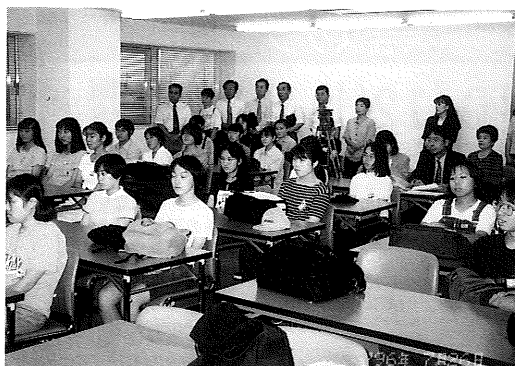
7月26日(金)午後6時、名古屋空港特別室で地区IAC海外派遣団の出発式が行われた。

2回の事前研修を済ませた35名の団員と、坂本IA委員長始め5名の世話役の方を含めて40名

という大勢の皆さんである。

各クラブから選ばれた団員だけあって、キビキビした動作が頼もしい。とくに「誓いのことば」を述べた2名の団員には、その内容、話し方とも大変感銘を受けた。

国際理解と親善の使命を担って今年はオーストラリア、シドニーへのホームステイの旅であるが、立派にその実を挙げてくれることと思う。(なお、一行は8月4日無事帰国した。)



挨拶を聞く、団員はチョッピリ緊張!

文庫通信

(第107号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

☆新年度に向けて その2 ☆

◎「ロータリーの本」 森 光繁 1978年 126頁

[申込先 今治R.C. TEL(0898)22-3933]

◎「これがロータリー」 小中義美 1981年

120頁 [申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリー随想 その周辺とともに」

管生浩三 1993年 214頁

[申込先 ㈱出版文化社 TEL0120-555583]

◎「続・ロータリー随想 その周辺とともに」

管生浩三 1996年 194頁

[申込先 ㈱出版文化社 TEL0120-555583]

◎「ロータリーを「わかる」為に一巻き込み、渦をおこすのが広報」 森 三郎 1995年 16頁 [申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「日常語で、ロータリー」 森 三郎

1995年 20頁

[申込先 ロータリー文庫(コピー)]

◎「ロータリー論策ー親睦と奉仕ー」

佐藤千尋 1996年 70頁

[申込先 D.2780 TEL(0463)32-2780]

◎「回首原点ーロータリーの心を尋ねて

(その4)」 大村北R.C. 1996年 325頁

[申込先 大村北R.C. TEL(0957)53-4222]

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3abc館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

あなたの大会です。ぜひ参加しましょう!!

1996～'97年度国際ロータリー第2760地区 地区大会のごあんない

1996・10/ 12 ・ 13 ・ 14
(SAT) (SUN) (MON)

活力あふれ 文化の香る 緑の都市
この出会いを、この感動を、
未来へメッセージしたい。

地区大会スケジュール

10/12(土)

第1日目

会場/ホテルナゴヤキャッスル

*1=出席義務者/会長・会長
エレクト・幹事・クラブ奉
仕・職業奉仕・社会奉仕・
国際奉仕・ロータリー情報
の各委員長

*2=ご家族の皆様にもご参加
していただきます。

大会本会議第1日目

10:00 地区諮問委員会
信任状資格審査委員会
選挙管理委員会 大会決議委員会
登録委員会
11:30 R.I.会長代理を囲む昼食会
12:00 本会議登録受付 ー*1
13:00 本会議開会
14:10 ロータリーミーティング ー*2
「新世代を考える青少年活動」
16:30 表彰
17:00 本会議閉会
17:20 R.I.会長代理ご夫妻歓迎夕食会
19:20 閉会

10/13(日)

第2日目

会場/稲沢市民会館

大会本会議第2日目

9:00 本会議登録受付
10:00 本会議開会
歓迎のことば R.I.会長メッセージ
並びに現況報告 来賓祝辞
12:30 R.I.会長代理主催顕彰昼食会
(新PHF、MF、BF、米山功労者)
13:30 青少年奉仕活動の紹介
14:15 特別記念講演
「様々な才能」
講師 医学博士、作家 渡辺淳一氏
15:50 講評
16:20 本会議閉会

10/14(月)

第3日目

会場/富士カントリー塩河倶楽部

大会本会議第3日目

7:30 登録受付
8:00 アウト・イン同時スタート
18ホールズストロークプレー
ダブルベリア方式
17:00 パーティー及び表彰式
18:00 閉会

登録・宿泊のお知らせ

大会登録料 17,000円(会員)
10,000円(夫人)
R.I.会長代理ご夫妻歓迎夕食会 20,000円(お一人様)
記念ゴルフ大会登録料 8,000円(プレイ代別)

●宿泊予約には制限がございます。

希望者は早めにお申し込みください。



マークの意味

稲沢市の頭文字「R」とロータリーの「R」を融合し、稲沢市民とロータリーのふれあいを意味いたします。
マークの斜体は人間のほばたきにも似た躍動感を表現し、間近に迫る21世紀への希望と向上心を感じとっていただければ幸いです。

特別記念講演



医学博士 作家

渡辺 淳一氏

1933年 (昭和8年10月24日)生まれ 満62才
1958年 札幌医科大学卒業
母校の整形外科講師となり、医業のかたわら小説を執筆。
1965年 「死化粧」で新潮同人雑誌賞。
1970年 「光と影」で直木賞。
1980年 「遠き落日」で吉川英治賞。
1983年 直木賞選考委員となる。
1995年 日本経済新聞に「失楽園」を連載。
1995年 作家生活30周年を記念して、角川書店より「渡辺淳一全集」全24巻を刊行中

著書=「花埋み」「ひとひらの雪」「静寂の声」「うたかた」「麻酔」など多数。「失楽園」は中年の愛と性を描いて評判になる。作品には、初期の医学を題材にしたものから、歴史、伝記的小説、男と女の本質に迫る恋愛小説と多彩で科学的な人間意識をもとに華麗な現代ロマンを描く作家として現在、文壇の第一線で活躍中。

マルチメディアコーナー

〈インターネットカフェ〉

日時 平成8年10月13日(日)(大会第2日目)
午前9時～午後4時
場所 稲沢市民会館小ホール



INAZAWA

R.I. DISTRICT2760 CONFERENCE 1996▶97

地区大会事務局/

〒492 稲沢市駅前2丁目24-24-101

TEL (0587) 22-0200 FAX (0587) 23-5757

稲沢ロータリークラブ/

〒492 稲沢市松下1-6-1(名鉄国府宮駅前)東海銀行稲沢支店内

TEL (0587) 24-0740 FAX (0587) 24-0740